

北海道オホーツク地域等公共交通利便増進実施計画【遠軽町・湧別町・紋別市方面】概要

策定目的

○ 将来においても地域住民の日常を支える移動手段を確保する

▶ 「北海道オホーツク地域等公共交通計画」を策定(令和5年3月)

本計画は「北海道オホーツク地域等公共交通計画」に定めた施策を展開するため策定するもの

実施区域

北海道オホーツク地域の遠軽町、湧別町、紋別市

最適化の方向性：最適化により持続可能な形での広域的な公共交通ネットワークの確保を図ります

○ バスとバスが競合している

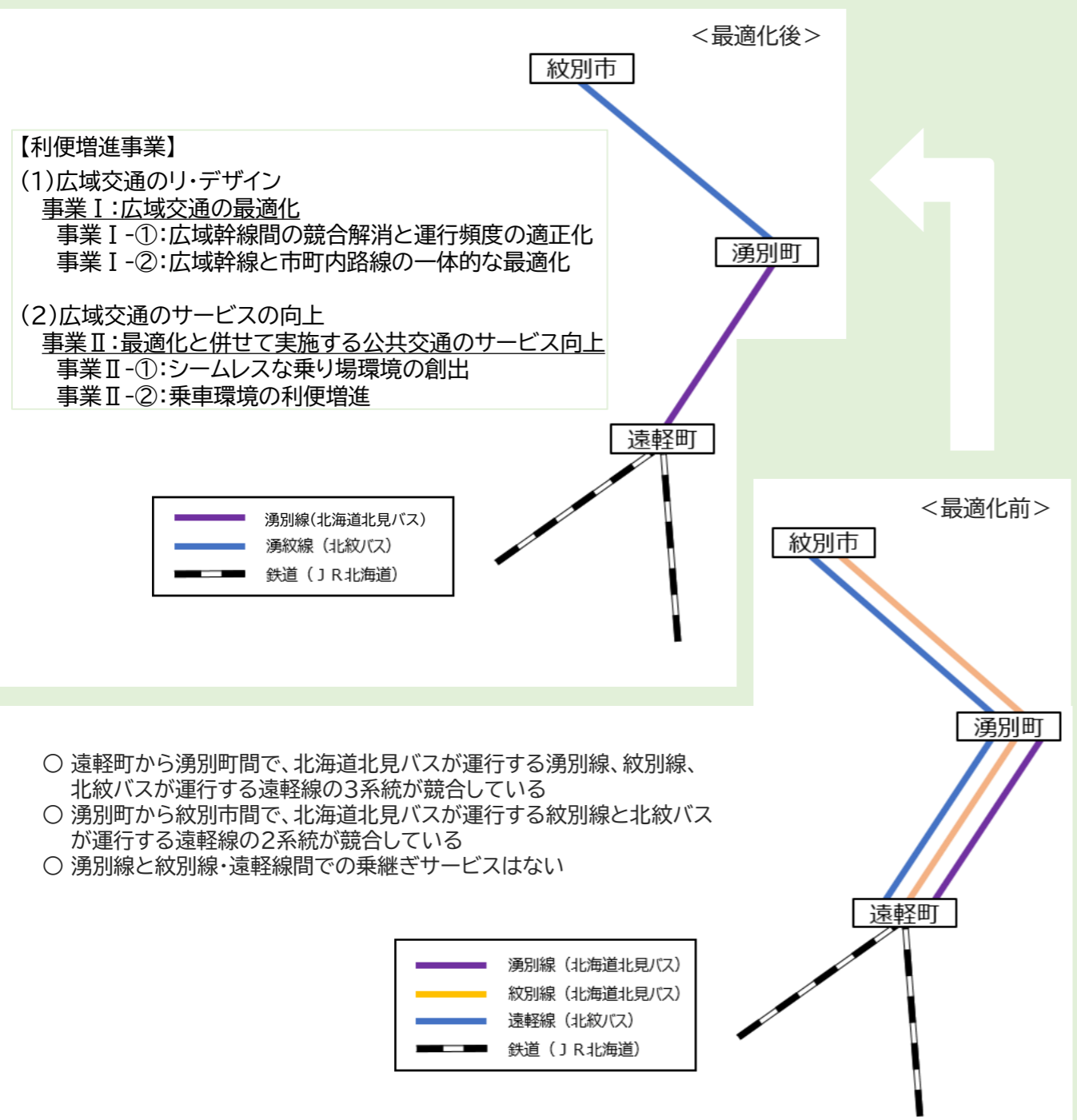
○ 湧別町が起点の乗り継ぎサービスはない など

▶

○ 競合路線の解消とダイヤの適正化

○ 交通結節の活用による利便性の向上

○ サービス向上策の実施



▶ 事業Ⅰ：広域交通の最適化

競合を解消するとともに運行頻度の適正化を行うことで、公共交通ネットワークの最適化を図ります

事業Ⅰ-①：広域幹線間の競合解消と運行頻度の適正化

- 2社間の競合を解消し、運行区域を分担
- 3系統を湧別線と新設の湧紋線に再編
- 遠軽～湧別間の運行頻度を適正化
- 通学便の一部を高校へ接続

事業Ⅰ-②：広域幹線と市町内路線の一体的な最適化

- 新たに交通結節となる湧別町の中湧別バスターミナル(BT)などにおいて、最適化後の湧別線や湧紋線と市町内路線との接続ダイヤの調整を図り、乗継ぎを可能とする

<最適化による運行頻度の変化>

最適化前		最適化後		増減	最適化の内容
対象系統	便数	対象系統	便数		
湧別線	23	湧別線	34	11	競合ダイヤを見直し
紋別線	8	-	0	-8	湧別線と湧紋線に再編
遠軽線	8	湧紋線	16	8	

▶ 事業Ⅱ：最適化と併せて実施する公共交通のサービス向上

サービス向上により利用を促進・創出することで、持続可能な公共交通ネットワークを確保します

事業Ⅱ-①：シームレスな乗り場環境の創出

- 通学便の一部を高校へ接続(再掲)

事業Ⅱ-②：乗車環境の利便増進

- バスロケシステムによる利用環境の充実
- ICカードシステムによる乗継ぎ環境等の向上
- 極めて利用の少ないバス停の見直し

▶ その他の取組

- 「最適化」や「さらなるシームレスな乗り場環境の創出」の必要性・実施について、ワーキンググループにおいて継続的に協議・検討を行います

▶ 実施予定期間

令和7年10月から事業実施

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
北海道オホーツク地域等公共交通計画	▶					
北海道オホーツク地域等公共交通利便増進実施計画(遠軽町・湧別町・紋別市方面)			▶	▶	▶	▶

▶ 再編・利便増進事業の効果

- 運行効率性の向上による公共交通サービスの確保
 - ・ 平均乗車密度の向上 【現況】R6年度:3.1 ⇒ R10年度:3.1(2.9)
 - ・ 公共交通事業の収支率の向上 【現況】R6年度:34.5%⇒ R10年度:39.6%(32.7%)

※()内の数値は事業を実施しなかった場合の推計
※数値は対象系統の乗車密度の平均値と対象系統の経常費用及び経常収益見込みの合算値から推計した収支率